

会計名							担当部	市民活動部	
一般会計			宮西達也展開催事業				担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	カラフルな絵と心温まるストーリーで数々のベストセラーを手がける絵本作家、宮西達也（1956年～）を紹介する。愛と勇気、そして正義感に満ちたその作品世界を紹介することで、絵本やイラストレーションへの理解を深めながら、人間の普遍的な真理を見つめ直す機会とし、文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○代表作の原画や未公開スケッチなどの展示 ○作家を招いたワークショップや読み聞かせなど参加型のイベントの開催 会期 平成27年4月25日～6月7日（38日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～平成27年度		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		—		—		・入館者数 16,828人 ・ワークショップ 4回 ・鑑賞会、読み聞かせ 2回 ・ギャラリートーク 4回 ・えほんのじかん 6回 ・講演会 1回 ・対談 1回		—	
成果		宮西達也氏のカラフルでユニークな世界を、代表作を中心に絵本原画のほか立体造形や体験展示等で表現することができた。また、作家本人が登場するイベントを多く開催し、それらのイベントについてSNS等を随時利用し告知を行った。主に子どもが楽しむことができる内容であったが、大人が参加できるイベント等も開催したため、年代を問わず楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。							
課題		絵本の展覧会であったため、子ども連れの来館者が多くみられたが、授乳室や洋式トイレの不足など、子どもから大人まで快適に安心して利用できる施設整備について検討する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
成果指標		入館者数（人）	—	—	16,828	—	—		
成果指標		入館者アンケートの満足度（%）	—	—	91.2	—	—		
他市との比較検証		展覧会の主な巡回地の会期・入館者数…横浜高島屋：13日間・34,408人、天童市美術館：34日間・5,258人、世田谷文学館：53日間・8,586人、佐野美術館：45日間・14,734人、大阪高島屋：13日間・20,398人							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	25,739	0	合計	25,739,184円	
	財源	特定財源	0	0	15,234	0	賃金	2,222,975円	
		一般財源	0	0	10,505	0	報償費	315,000円	
	職員人件費②		0	0	6,659	0	旅費	3,560円	
	総事業費（①+②）		0	0	32,398	0	需用費	9,005,371円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		入場料、冊子等頒布収入、印刷物売払収入					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			宮西達也展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	社会教育センターでの催しと連携して、美術館のイベントを行い、双方の参加者が増え、美術館来館者として呼び込むことができ、効率的な運営が実現できた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会と絡めたワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 絵本原画展に関する展覧会開催については、幹事館として企画構成、図録編集に携わることで、学芸面でのノウハウを蓄積し、当館の企画構成力を広くアピールしていく。 文化振興基本計画に基づき、市内施設との相互協力を強めるとともに、近隣の大学等との連携も深めていく。 					

会計名 一般会計			イエラ・マリ展開催事業				担当部	市民活動部			
款	項	目					担当課	美術館			
10	5	8					担当係	美術館			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	言葉のないシンプルな絵本で知られるイタリア出身のイラストレーター、イエラ・マリ（1931～2014年）を紹介する。デザイン感覚にすぐれた斬新な絵本のほか、謎の多い作家の全貌を紹介することで、美的好奇心や心の豊かさを育む機会とし、文化芸術の高揚を図る。			主たる内容	○絵本の仕事を中心に原画や試作本の展示 ○制作過程や各国語版の絵本などの紹介 会期 平成27年7月18日～8月30日（38日間） 会場 1階展示室・1階ロビー 入場料 一般当日300円、学生当日200円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
			根拠法令	博物館法							
			対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成27年度～平成27年度				
			実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		—		—		・入館者数 5,400人 ・ワークショップ 2回 ・ギャラリートーク 3回 ・えほんのじかん 3回		—			
成果		・本展図録のアートディレクションを務めたデザイナー・造本作家の駒形克巳氏を講師に迎え親子で楽しめるワークショップを開催するとともに、学芸員によるギャラリートークや、絵本の読み聞かせイベント「えほんのじかん」などを開催し、年代を問わず楽しみながら芸術に触れる機会を提供できた。									
課題		・絵本の展覧会であったため、子ども連れの来館者が多くみられたが、授乳室や洋式トイレの不足など、子どもから大人まで快適に安心して利用できる施設整備について検討する必要がある。									
指標名称（単位）					実績値		目標値				
					25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		入館者数（人）	—		—		5,400	—			
成果指標		入館者アンケートの満足度（%）	—		—		91.9	—			
他市との比較検証		展覧会の主な巡回地の会期・入場者数…板橋区立美術館：40日間・5,334人									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費①		0	0	12,207	0	合計	12,207,089円			
	財源	特定財源	0	0	3,052	0	賃金	1,156,550円			
		一般財源	0	0	9,155	0	報償費	90,000円			
	職員人件費②		0	0	5,876	0	旅費	1,700円			
	総事業費（①+②）		0	0	18,083	0	需用費	3,179,904円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称		役務費	942,535円		
27年度までの累積事業費		0		入場料、印刷物売払収入		委託料	1,868,400円				
29年度以降の事業費見込		0				負担金、補助及び交付金	4,968,000円				

会計名			イエラ・マリ展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	本展図録のアートディレクションを務めたデザイナー・造本作家の駒形克巳氏を講師に迎え、ワークショップを開催することで、展覧会の世界観そのままに効率よく運営を行うことができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会と絡めたワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・絵本原画等の展覧会開催については、近隣大学の幼児保育等を専攻している学生による、絵本の読み聞かせの時間を設けるなど、近隣大学との連携を深めていく。					

会計名							担当部	市民活動部	
一般会計			及川正通展開催事業				担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	情報誌『ぴあ』の顔など、遊び心のあるパロディ化と、繊細かつポップな表現で描き続けるイラストレーター、及川正通（1939年～）を紹介する。時代の様相を鮮やかにとらえた作品を年代順に紹介することで、その魅力に迫るとともに、各時代や文化史を蘇らせる機会とし、文化芸術の高揚を図る。	主たる内容	○『ぴあ』表紙絵の代表作、初期グラフィック・デザイン、刺激的な雑誌の劇画、近作等の展示 会期 平成27年9月19日～11月8日（43日間） 会場 全館 入場料 一般当日900円・前売700円 学生当日700円・前売500円					
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成27年度～平成27年度		
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> 入館者数 7,146人 ワークショップ 1回 ギャラリートーク 4回 対談 1回 		_____	
成果		<ul style="list-style-type: none"> 作品数が多かったため、観覧経路を今展覧会のキャラクターを利用して案内を行い、また、複数台のモニターを利用して観覧して頂くなどの工夫をし、今展覧会の世界観を存分に味わってもらうことができた。 当時を懐かしむ世代の来館者が多数を占めたが、若い世代の来館者も多く、この展覧会を通して芸術に触れる機会に加え、世代間交流の機会も提供できた。 							
課題		<ul style="list-style-type: none"> 知名度の高い作家のように、多くの人に告知を浸透させることが難しく、今後より効果的なPR方法を検討する必要がある。 							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		入館者数（人）		—	—	7,146	—	—	
成果指標		入館者アンケートの満足度（%）		—	—	87.2	—	—	
他市との比較検証		他館の自主企画展の本数…高浜市やきもの里かわら美術館：2本、豊橋市美術博物館：1本、稲沢市荻須記念美術館：1本、名古屋市美術館：3本、豊田市美術館：改修のため休館、碧南市藤井達吉現代美術館：1本							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	15,509	0	合計	15,508,593円	
	財源	特定財源	0	0	4,026	0	賃金	2,363,550円	
		一般財源	0	0	11,483	0	報償費	585,000円	
	職員人件費②		0	0	6,659	0	旅費	304,270円	
	総事業費（①+②）		0	0	22,168	0	需用費	3,110,535円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		入場料、冊子等頒布収入、印刷物売払収入					
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			及川正通展開催事業	担当部	市民活動部
一般会計				担当課	美術館
款	項	目		担当係	美術館
10	5	8			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 		高い	博物館法で美術館が行う事業として、実物（作品）等の資料を豊富に展示することが定められており、必要性が高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 		高い	当館オリジナルの展覧会であり、担当学芸員による図録制作をすることで、コストの削減を行った。また「株式会社ぴあ」の協力得ることで、少ない費用で効果的な広報をすることができた。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 		普通	展覧会の企画運営は、専門的な知識を持つ学芸員の経験や手腕が必要となることから、市が主体となるのが妥当であり、第7次総合計画の施策にも位置づけられている。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 		普通	展覧会と絡めたワークショップを行うことで、気軽に鑑賞することができ、創造体験の機会を提供することができた。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
<ul style="list-style-type: none"> 作家と同世代の地元の著名人の方との対談を開催し好評であったため、今後とも、地元の人により興味を引くイベントを企画していく。 文化振興基本計画に基づき、市内施設との相互協力を強めるとともに、近隣の大学等との連携も深めていく。 					

会計名			収蔵品等保存管理事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	7							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	美術作品の劣化を防ぐとともに作品の修復を行い、美術館収蔵品や借り受けた美術品の適正な保存管理を図る。		主たる内容	○美術品動産保険 ○収蔵庫の燻蒸 ○収蔵作品の修復 ○収蔵庫の保存環境測定				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	—		事業期間	～			
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他						
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品包込み燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・1階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影		収蔵作品の適正な保存、管理 ・寄託作品の動産保険加入 ・2階収蔵庫燻蒸 ・収蔵作品の修復、額装 ・新収蔵作品の撮影	
成果		・収蔵作品の適切な保存、管理、補修が図られている。							
課題		・新たに収集した作品は状態のよいものばかりではないため、修復は新収蔵品を優先して行っており、以前からの収蔵品は予算の範囲内で順次行っている。そのため修復を必要とする作品が残っている状況である。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		修復、保存措置等をした作品数（点） （写真撮影、額装等）		410	410	217	200	200	
活動指標		修復、保存措置等をした作品のうち展示に活用した作品数（点）（写真撮影、額装等）		90	30	65	60	60	
他市との比較検証		修復、保存措置等をした作品数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：8、豊橋市美術博物館：3、稲沢市荻須記念美術館：0、名古屋市美術館：594、碧南市藤井達吉現代美術館：134 収蔵品点数（点）…高浜市やきもの里かわら美術館：2,469、豊橋市美術博物館：58,877、稲沢市荻須記念美術館：227、名古屋市美術館：5,895、碧南市藤井達吉現代美術館：1,455							
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳	
	事業費 ①		2,402	3,336	2,683	3,435	合計	2,682,700 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	役務費	96,770 円	
		一般財源	2,402	3,336	2,683	3,435	委託料	2,197,130 円	
	職員人件費 ②		1,753	1,760	2,742	2,662	使用料及び賃借料	388,800 円	
	総事業費（①+②）		4,155	5,096	5,425	6,097			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			業務管理事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	○刈谷市美術館美術品審査委員会への収集予定作品の諮問			
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	作品選定、審査等の適正な業務管理を行うことにより、刈谷市美術館が収集するにふさわしい美術品を収集する。								
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	刈谷市美術館美術品審査委員会及び選定委員会設置要綱							
		対象者	美術品審査委員会委員、市職員		事業期間	平成4年度 ~				
		実施方法	■直営 ■委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		審査委員会 1回開催 委員数 5人		
成果		・刈谷市美術品審査委員会の審議を経て、美術品収集方針に沿った美術作品の収集を行うことができた。								
課題		・審査委員が高齢化していることもあり、後任の委員の候補者を検討する必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
活動指標		審査委員会開催回数（回）			1	1	1	1	1	
活動指標		審査作品数（件）			27	5	9	5	5	
他市との比較検証		審査委員会開催回数（回）…高浜市やきもの里かわら美術館：1、豊橋市美術博物館：2、稲沢市荻須記念美術館：1、名古屋美術館：1、碧南市藤井達吉現代美術館：1 審査作品数（件）…高浜市やきもの里かわら美術館：6、豊橋市美術博物館：9、稲沢市荻須記念美術館：1、名古屋美術館：36、碧南市藤井達吉現代美術館：106								
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		331	597	561	895	合計	561,018 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	52,500 円		
		一般財源	331	597	561	895	旅費	83,750 円		
	職員人件費 ②		1,403	1,408	3,917	3,802	役務費	22,680 円		
	総事業費（①+②）		1,734	2,005	4,478	4,697	委託料	402,088 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
27年度までの累積事業費		0								
29年度以降の事業費見込		0								

会計名			一般企画展等実施事業				担当部	市民活動部	
一般会計							担当課	美術館	
款	項	目					担当係	美術館	
10	5	8							
PLAN概要 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	常設展示を行うことにより、地域の人々に刈谷市美術館収蔵作品等を紹介し、美術に対する理解・親しみを深めてもらう。 呈茶事業を行い、気軽に抹茶をいただく機会を提供し、茶道に親しんでもらう。				主たる内容	○特別展示室において、年4回、収蔵作品による常設展を実施 ○茶室佐喜知庵において、貸切のない日の午後1時から3時30分の間に個人呈茶を実施		
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
		根拠法令	博物館法						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		第1期常設展「ふしぎなせかい」32日 第2期常設展「わたしのベストコレクション」26日 第3期常設展「宇野亜喜良展 本にみる少女譚」37日 個人呈茶日数 211日		第1期常設展「New Collection展」26日 第2期常設展「没後10年杉本健吉・寛忠治展」25日 第3期常設展「旅の記憶、異国の情景」40日 第4期常設展「いきものたちの絵本劇場」41日 個人呈茶日数 225日		第1期常設展「New Collection展」26日 第2期常設展「没後30年宮脇晴と同世代の画家たち」25日 第3期常設展「市政65周年記念 河目悌二展」40日 第4期常設展「ゾクッ!?奇怪な絵の誘惑」40日 個人呈茶日数 229日		第1期常設展「New Collection展」32日 第2期常設展「館蔵名品展」26日 特別展示「戸田提山展」5日 第3期常設展「静物画のこころ」29日 第4期常設展「表現のひみつ」40日 個人呈茶日数 220日	
成果		・個人呈茶の時間延長などにより事業が充実し、市民の文化振興が図られている。							
課題		・佐喜知庵は、個人呈茶または貸切利用で毎日使用されるため、施設・設備・茶道具の日常的な消耗・劣化があるが、十分な修繕や買替えができていないため、計画的な修繕・買換えを行うことが課題である。							
C V コスト	指標名称（単位）		実績値			目標値			
			25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
	成果指標	特別企画展開催時を除く入館者数（人）	48,298	54,590	53,213	52,000	52,000		
	成果指標	個人呈茶人数（人）	4,622	3,972	4,124	4,000	4,000		
他市との比較検証	常設展開催日数（日）…高浜市やきもの里かわら美術館：297、豊橋市美術博物館：113、稲沢市荻須記念美術館：249、名古屋市美術館：248、碧南市藤井達吉現代美術館：306 常設展入館者数（人）…高浜市やきもの里かわら美術館：16,527、豊橋市美術博物館：21,363、稲沢市荻須記念美術館：9,385、名古屋市美術館：65,984、碧南市藤井達吉現代美術館：31,590								
C V コスト	単位：千円	25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①	3,248	3,868	3,207	4,312	合計	3,206,907 円		
	財源	特定財源	1,526	1,334	1,378	1,801	旅費	4,760 円	
		一般財源	1,722	2,534	1,829	2,511	需用費	1,211,469 円	
	職員人件費 ②	2,805	2,816	4,701	4,563	役務費	441,986 円		
	総事業費（①+②）	6,053	6,684	7,908	8,875	委託料	1,548,692 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		27年度特定財源名称					
	27年度までの累積事業費	0		冊子等頒布収入、呈茶料					
	29年度以降の事業費見込	0							

会計名 一般会計			次期企画展開催準備事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	8					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり						
	目的	平成28年度以降に開催を予定している企画展について、調査研究、図録作成や広報等の準備作業を行い、展覧会の充実を図る。			主たる内容	○調査研究 ○展示美術品の借用交渉等に関する費用 ○次年度当初に開催の企画展用ポスター等の印刷費及び発送費			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備		次期企画展開催準備	
成果		・展覧会の準備・計画を行うためには、調査研究から出品作品の選定、交渉など多大な時間と予算が必要であり、開催年度前から準備作業を行うことで、展覧会の充実が図られている。							
課題		・次年度当初の春季企画展のPR方法を検討する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		春季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		86	89	91	90	90	
成果指標	秋季企画展時のアンケート展示内容満足度（％）		91	89	87	90	90		
他市との比較検証	愛知県美術館…準備事業予算に旅費を計上。ポスター印刷は実行委員会予算。 豊田市美術館、豊橋市美術館…準備事業予算に旅費、春の企画展のポスター印刷等を計上。 稲沢市荻須記念美術館…準備事業予算に旅費を計上。企画展は秋にしかないのでポスターの印刷等は開催年度の予算に計上。								
C 事業コスト 建設事業	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		3,083	3,556	2,652	2,993	合計	2,651,673 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	1,121,810 円	
		一般財源	3,083	3,556	2,652	2,993	需用費	1,149,810 円	
	職員人件費 ②		4,559	4,576	6,268	6,084	役務費	228,583 円	
	総事業費（①+②）		7,642	8,132	8,920	9,077	委託料	151,470 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0							
29年度以降の事業費見込		0							

会計名			参加・体験型美術教育普及事業				担当部	市民活動部			
一般会計							担当課	美術館			
款	項	目					担当係	美術館			
10	5	8									
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化								
		基本施策	文化・芸術								
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり								
	目的	美術館をとりまく環境の変化に対応し、より開かれた美術館への要求に応えるため、美術及び美術館の教育普及活動を行い、次代を担う子どもの想像力や創造力の育成を図る。				主たる内容	○企画展関連のワークショップの開催 ○夏休み・春休みの子ども向けワークショップの開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
		根拠法令	博物館法								
	対象者	プログラムにより個別に対象年齢を設定				事業期間	～				
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他									
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画			
		ワークショップ 13種類14回を開催 参加者数 319人		ワークショップ 18種類26回を開催 参加者数 571人		ワークショップ 12種類19回を開催 参加者数 724人		ワークショップ 12種類12回を開催予定 予定参加者数 490人			
成果		・他機関ではできない美術館ならではの創造プログラムを提供していることから、年々市民に広まり、特に園児・小学生向けプログラムは毎回抽選になるほどの応募が集まっている。									
課題		・多様なプログラムを提供できるように、幅広いジャンルの講師の確保が課題である。									
指標名称（単位）				実績値		目標値					
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
活動指標		開催回数（回）		14		26		19		12	12
成果指標		参加人数（人）		319		571		724		490	490
他市との比較検証		近隣市でほとんどの美術館が美術普及ワークショップを実施している 実施方法は館によって異なる。高浜市やきもの里かわら美術館では、館内の陶芸創作室で休館日を除く毎日、陶芸創作体験を行なっている。碧南市藤井達吉現代美術館では、ワークショップは「子ども友の会」の会員制であり、対象は小学生のみである。									
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳			
	事業費 ①		917	750	777	876	合計	777,117 円			
	財源	特定財源	41	18	115	40	賃金	183,764 円			
		一般財源	876	732	662	836	報償費	514,380 円			
	職員人件費 ②		2,455	2,464	2,742	2,662	需用費	62,563 円			
	総事業費（①+②）		3,372	3,214	3,519	3,538	役務費	16,410 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称					
27年度までの累積事業費		0		印刷物売払収入、講座受講料							
29年度以降の事業費見込		0									

会計名		施設整備事業				担当部	市民活動部		
一般会計						担当課	美術館		
款	項					目	担当係	美術館	
10	5					7			
PLAN概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	美術館の施設を整備し、来館者に快適な環境提供を図る。	主たる内容	○美術館設備の補修に関する費用 ○第2展示室ピクチャーレール修繕 ○1階2階トイレ壁紙等張替修繕 ○研修室及び控え室カーテン・ブラインド取替修繕 ○屋上防水改修工事 ○外壁改修工事					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令		博物館法					
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		美術館の整備・第2展示室可動壁修繕、第2展示室ピクチャーレール修繕、高圧受電設備修繕他 佐喜知庵の整備・トイレ洋式便器取付工事、トイレ配管修繕		美術館の整備・第1展示室ピクチャーレール修繕、監視カメラ設備ハードディスク交換修繕、美術館外壁調査設計委託、2階トイレ洋式化工事 佐喜知庵の整備・水屋雨漏り修繕		美術館の整備・第2展示室ピクチャーレール修繕、1階2階トイレ壁紙等取替修繕、研修室及び控え室カーテン・ブラインド取替修繕、屋上防水改修工事、外壁改修工事		美術館の改修・自動扉開閉装置修繕、茶室ロールスクリーン取付工事、1階2階トイレバリアフリー化工事	
成果		・美術館の設備補修は、予定されていたすべての修繕を実施した。							
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、緊急で修繕等を行うことが多いため、計画的に館内設備の修繕・買換えを行うことが課題である。							
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値		
成果指標	年間入館者数（人）	25年度	26年度	27年度	28年度	30年度			
指標		95,784	99,091	90,559	95,000	95,000			
他市との比較検証	平成27年度施設修繕額（千円）・・・高浜市やきもの里かわら美術館：1,520、豊橋市美術博物館：3,785、稲沢市荻須記念美術館：1,277、名古屋市美術館：8,058、碧南市藤井達吉現代美術館：1,572								
C 事業 コスト V	単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳		
	事業費 ①		5,947	3,154	46,996	4,110	合計	46,996,200 円	
	財源	特定財源	0	0	0	2,100	需用費	1,204,200 円	
		一般財源	5,947	3,154	46,996	2,010	工事請負費	45,792,000 円	
	職員人件費 ②		3,156	3,168	3,525	3,042			
	総事業費（①+②）		9,103	6,322	50,521	7,152			
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称				
	27年度までの累積事業費		0						
	29年度以降の事業費見込		0						

会計名			美術品等購入基金積立事業				担当部	市民活動部		
一般会計							担当課	美術館		
款	項	目					担当係	美術館		
10	5	8								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり							
	目的	刈谷市美術品等購入基金の運用収入金を基金へ積立する。				主たる内容	○美術品等購入基金の利子を積立てる			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画							
			根拠法令	刈谷市美術品等購入基金条例						
		対象者	対象者を設定せず			事業期間	平成1年度 ~			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画		
		運用収入金を基金に積立 631,800円		運用収入金を基金に積立 323,400円		運用収入金を基金に積立 1,798,234円		運用収入金を基金に積立 211,277円		
成果		・美術品等購入基金の利子を積み立てることで基金の増額を図った。								
課題		・経済状況の悪化に伴う預金利率の低下により収益効果が悪化した。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度		
成果指標		運用収入金（千円）			632	324	1,799	212	—	
指標										
他市との比較検証		購入基金の有無…高浜市やきもの里かわら美術館：無、豊橋市美術博物館：無、稲沢市荻須記念美術館：有、名古屋市美術館：有、豊田市美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：無 基金額（円）…稲沢市荻須記念美術館：34,072,937、名古屋市美術館：500,000,000 運用収入金（円）・利率（%）…稲沢市荻須記念美術館：36,999・0.120、名古屋市美術館：0・0								
C 事業コスト		単位：千円		25年度 （決算）	26年度 （決算）	27年度 （決算）	28年度 （予算）	27年度 事業費内訳		
	事業費 ①		632	323	1,798	212	合計	1,798,234 円		
	財源	特定財源	632	323	1,798	212	積立金	1,798,234 円		
		一般財源	0	0	0	0				
	職員人件費 ②		351	352	783	760				
	総事業費（①+②）		983	675	2,581	972				
建設事業	全体事業費（単位：千円）			0	27年度特定財源名称					
	27年度までの累積事業費			0	美術品等購入基金積立金利子					
	29年度以降の事業費見込			0						

会計名 一般会計			施設管理事業				担当部	市民活動部	
款	項	目					担当課	美術館	
10	5	7					担当係	美術館	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	文化・芸術						
		施策の内容	文化芸術の拠点づくり						
	目的	来館者に美術館及び佐喜知庵を快適に利用していただくため、施設の適正な維持管理を図る。			主たる内容	○光熱水費 ○施設修繕料 ○電話料 ○建物清掃料 ○設備等保守管理料等 ○美術館・佐喜知庵の施設管理に関する経費			
	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画						
			根拠法令	博物館法					
		対象者	対象者を限定せず			事業期間	昭和58年度～		
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 O 実施 V	25年度実績		26年度実績		27年度実績		28年度計画	
		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 267日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 274日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 280日		施設の維持管理、展示環境の整備 開館日数 271日	
成果		・施設、設備等が適切に維持管理ができ、来館者に快適な鑑賞環境の提供ができた。							
課題		・建設後30年を経過し設備が旧式であり、エネルギー使用効率が悪いため、省エネルギーの観点より計画的に照明・空調等の設備の更新を行うことが課題である。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				25年度	26年度	27年度	28年度	30年度	
成果指標		ギャラリーの展示室稼働率（％）			100	98	91	100	100
指標									
他市との比較検証		ギャラリー（貸館）の有無・展示室稼働率…高浜市やきもの里かわら美術館：無、豊橋市美術博物館：有・94%、稲沢市荻須記念美術館：有・94%、名古屋市美術館：無、碧南市藤井達吉現代美術館：有・年間1回のみ							
C 事業コスト		単位：千円		25年度（決算）	26年度（決算）	27年度（決算）	28年度（予算）	27年度事業費内訳	
	事業費 ①		35,466	37,057	35,101	37,967	合計	35,100,815 円	
	財源	特定財源	2,642	2,297	2,264	2,297	需用費	17,974,426 円	
		一般財源	32,824	34,760	32,837	35,670	役務費	869,376 円	
	職員人件費 ②		5,961	5,984	7,443	5,704	委託料	14,510,639 円	
	総事業費（①+②）		41,427	43,041	42,544	43,671	使用料及び賃借料	1,746,374 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		27年度特定財源名称			
27年度までの累積事業費		0		美術館使用料、電話料実費徴収金					
29年度以降の事業費見込		0							